

施策評価表

1次評価日（課長等） 26年 9月 30日

2次評価日（部長等） 26年 10月 10日

1 施策の概要

施策名	医療体制の充実	コード	4-4
この施策の主な内容（細施策）	①地域医療体制の推進、②岡谷市病院事業の整備・充実		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	高齢化の進行や医療技術の進歩、住民意識の変化や医療を取り巻く環境が大きく変わる中、誰もが安心して医療を受けることができる環境の整備を図る。		
担当部課	部 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 片桐ゆみ子

●施策の実施内容（D0）

2 施策指標の達成状況

*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 年間総受診者数①	人	4,083	3,752	3,752	3,564	95.0%	3,564	3,564
指標説明	休日救急当番医制度、夜間救急急病センター運営事業により、医療機関で受診をした人。目標値は前年度実績値。							
② 年間総受診者数②	人	627	499	439	166	37.8%	166	166
指標説明	小児夜間急病センターを受診した人。指標の増減により夜間小児医療のニーズが把握できる。目標値は前年度実績値。							
③ 岡谷市看護専門学校入学者数						#DIV/0!	30	30
指標説明	指標の増減により、看護師養成数が把握でき雇用の目安となる。							

3 施策全体にかかる合計コストの推移

*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	10,408	19,408	196,728	46,270
人件費	11,200	13,600	47,440	56,800
合計コスト	21,608	33,008	244,168	103,070

●施策の評価（CHECK）

4 施策の現状評価

*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

医療体制については、初期救急医療体制として、医師会・歯科医師会などの協力により、休日急病当番医制度、小児夜間急病センターの運営を実施している。第二次救急救命医療では、医療圏内の市町村や医療機関の協力による病院群輪番制がとられており、更に第三次救急救命医療体制がとられている。病院整備事業では、市民病院が市民の要望する幅広い医療機能を担いながら高度専門医療を提供するため、病院事業と連携を図り、新病院建設事業を推進することができた。また、看護師育成のため、平成26年度看護専門学校開校を目指し、施設整備や人的・物的整備を行うことができた。

*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	新病院の開院・看護専門学校の開校等により、医療機能の充実、看護師確保のための基盤整備が進みつつある。
岡谷市の弱み	医師会員の高齢化が進んでいる。岡谷市民病院の産科が休止予定である。19市のなかで、高齢化率が高い。

5 今後の外部環境の変化

*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	医療技術の進歩に伴い、環境が整えば高度な医療が受けられる。ライフスタイルや価値観の変化に伴い住民のニーズが多様化している。医療従事者確保の公的支援がある。
不利に働くもの	少子高齢化により、若年労働者が減少している。2025年問題。医師不足。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	医療機能充実のため、岡谷市民病院の早期完成。 看護専門学校の開校し、看護師の養成。 医療を担う、人材の安定的な確保。 関係医療機関の連携強化。
見直しを行う分野	特になし

●27年度の優先度

* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標				妥当性	方向性	優先度
							23年度	24年度	25年度	26年度			
1		一般	あり	地域医療体制推進事業	年間総受信者数	人	4,083	10,358	3,200	高い	継続して実施	B：現状維持	
							3,752	10,772	3,200				
							3,564	7,398	3,200				
							3,564	4,327	3,200				
2		内部	なし	岡谷市看護専門学校整備事業	—	—	—	8,586	4,800	—	25年度未完了	完了	
							—	186,453	38,640				
							—						
							—						
3		内部	なし	病院整備事業	—	—	—	50	8,000	—	継続して実施	B：現状維持	
							—	50	5,600				
							—	2,877	5,600				
							—	50	5,600				
4	26新規	公共施設	なし	岡谷市看護専門学校運営事業	入学者数	人	—	41,893	48,000	高い	新規事業	A：拡大	
5													
6													
7													
8													
9													
10													